

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

器具・備品・・・定率法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
銀行預金・定額預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
国際会議準備金	7,000,000	4,000,000	2,000,000	9,000,000
退職給与引当預金	3,600,000	0	3,600,000	0
小 計	10,600,000	4,000,000	5,600,000	9,000,000
合 計	30,600,000	4,000,000	5,600,000	29,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
銀行預金・定額預金	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
小 計	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
特定資産				
国際会議準備金	9,000,000	(0)	(9,000,000)	(0)
小 計	9,000,000	(0)	(9,000,000)	(0)
合 計	29,000,000	(0)	(29,000,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具・備品	382,200	338,406	43,794
合 計	382,200	338,406	43,794

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	137,251	0	137,251
合 計	137,251	0	137,251

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額の残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額の残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照 表上の記 載区分
補助金 コンベンション 開催補助金	新潟県	0	790,242	790,242	0	—
コンベンション 開催補助金	財団法人新潟観光 コンベンション協会	0	528,000	528,000	0	—
コンベンション 開催補助金	富山市	0	186,000	186,000	0	—
コンベンション 開催補助金	財団法人富山県高等 教育振興財団	0	265,000	265,000	0	—
合 計		0	1,769,242	1,769,242	0	—